

愛知県MICE施設におけるコンセッション方式導入の概要

愛知県国際展示場



愛知県国際展示場外観

- コンセッション方式導入のメリット(愛知県資料より)
 - ①民間事業者の創意工夫をより強く引き出し、ローコストで高いサービス水準を実現。
 - ②県内企業・県民・利用者の利便性向上、運営に当たる民間事業者の収益確保、行政負担の軽減の「三方良し」の実現。
- 平成29年12月21日に優先交渉権者「前田・GL eventsグループ」を公表。平成30年1月17日に基本協定を締結。
- 平成30年4月27日に「愛知国際会議展示場株式会社」と実施契約を締結。
- 令和元年8月30日に愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo) として開業。

運営事業者

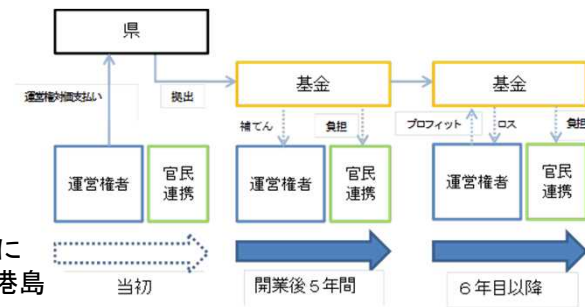
愛知国際会議展示場株式会社

概要

	展示ホール	会議室	多目的利用地
所在地	常滑市セントレア五丁目10-1		
面積	約28.0ha		
施設規模	10,000㎡ ×6ホール	300㎡×1室 200㎡×5室 100㎡×5室 50㎡×5室、 30㎡×2室	約3.6ha (貸出面積)
運営権の 存続期間	令和元年8月30日から令和17年3月31日まで (多目的利用地の一部は令和6年3月31日まで)		

愛知県国際展示場コンセッションの特徴

1. **運営権対価を国際展示場運営の原資に活用**
開業当初5年間の安定化支援や新たな展示会需要の創造等の原資に活用。
2. **官民連携による積極的な需要創造の取組 (民間事業者からの提案による)**
日本初の展示会事業(新たな展示会の立上げ・成長支援等)に長期間に亘り本格的に取り組む官民連携組織を構築し、需要創造に係る運営を積極的に展開。
3. **インセンティブも考慮した運営権者に対する支援**
利用実績のない開業当初5年間の事業安定化を支援するほか、6年目以降はプロフィット/ロスシェアを導入し、稼働率向上のインセンティブを付与しつつ、リスク負担の軽減も図る。
4. **民間事業者の任意事業により地域活性化を促進 (民間事業者からの提案による)**
展示場運営のほか、にぎわい創出につながる任意事業の展開により空港島及び周辺地域の活性化を促進。



1. 運営権対価を国際展示場運営の原資に活用するイメージ